



7天沼中 第257号

令和7年11月28日

杉並区立天沼中学校

自主・自律・共生



柔軟な発想を引き出す

校長 池田 和幸

先日、X（旧 Twitter）で高専ロボットコンテストが話題になっていました。HP でも少しふれさせていただきましたが、他にはない戦術で旭川高等専門学校が優勝したというニュースがとても興味深く感じました。今年度の高専ロボットコンテストは、段ボール箱でゲートを作り、その高さを競うというものでした。作ったゲートを人が乗ったロボットが通過すると作ったゲートの高さで得点が得られるということに加え、ロボットが通過する度に得点が加算されるというルールになっていました。ゲートの高さ 10 cm に対して 10 点が加算され、1m のゲートを作ると 100 点の得点が入ります。試合時間終了時により高いゲートを作ったチームには 50 点が加算されるというルールもあったため、多くのチームはゲートの高さを競う戦術で戦っていました。優勝した旭川高専は、開始時点で自チーム内にある段ボール箱を自由に積むことができるというルールを上手に活用し、競技開始前に自陣内の段ボール箱でゲートを作り、それを一度に運び、その後のゲートの通過で得られる得点を多く稼ぐという戦術をとっていました。今年度の競技として主催者が競わせたかったゲートを高く積むことを捨て、いかに早くゲートを通過することを磨き上げ、他チームとは異なった発想で勝ち上がっていました。決勝戦の試合では、対戦相手の熊本高専が 420 cm の高さのゲートを作ったのに対し、旭川高専が作ったのは 210 cm の高さのゲートでした。ゲートの高さの差で 210 点、終了時の 50 点を加えると 260 点もの差を、ゲート通過で得られる 5 点を積み重ね勝利しました。単純計算で 60 回以上の通過をしたことになりました。高専ロボットコンテストのページには、「若い人たちに既成概念にとらわれず『自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る』ことの面白さを体験してもらい、発想する事の大切さ、物作りの素晴らしさを共有してもらう全国規模の教育イベントです。」とあります。まさに既成概念にとらわれない発想をしたチームが優勝し、柔軟な発想をもつことの大切さを改めて気付かされました。

このようなロボットコンテストで使われている技術は、ロボットコンテストだけのものではなく、様々な場面で応用されています。福島第一原子力発電所のデブリ取り出しにおいては、ロボコンの技術、発想力、応用力と共通していると感じるものが多くあります。様々な課題に対して、既成概念にとらわれない発想が技術革新を促し、社会生活を豊かにしてきた歴史があります。若い高等専門学生の素晴らしい姿に、日本の底力を感じることができました。

反面、このニュースから私たちは中学校の教員として、生徒の柔軟な発想を引き出す工夫をしてきたのだろうか、これまでの指導を振り返らなければならないとも感じました。文部科学省では、次の学習指導要領の改訂に向けて、中央教育審議会での検討を重ねています。「主体的・対話的で深い学び」を実現するという、現行の学習指導要領でも示されている学習者主体の授業を行っていくという方向性は大きく変わらないようです。個別最適な学びと協働的な学習を充実させていくことが引き続き求められています。これらの学びの姿にある、「対話的」「協働的」という視点が、柔軟な発想を引き出す上では欠かせないものではないかと考えます。

私たちは一旦こうだと思ったものについては、その思いから抜けられないことがあります。「ルビンの壺」という絵を見たことがある人も多いと思います。黒に着目すると人が向かい合っているように見えて、白に着目すると壺のように見えるという絵なのですが、このようなだまし絵をただ眺めていると、一つの絵にしか見えませんが、別の見え方があると指摘されることで違う絵を見つけることができ、見方を広げることができます。学習にもこのような部分があり、他者と協働し、対話的な学習を行うことで、違った視点、違った考え方を得ることができます。一人で学習していると独善に陥りやすい面がありますが、他者との関わりの中で様々な気づきを得ることができます。柔軟な発想を生み出す素質、能力は個人差があるのかもしれませんが、多様な考え方に触れる機会が多いことは、自分の考えを広げることにつながることは間違いありません。

先ほどの旭川高専のロボコンチームでは、様々な角度から戦術面を分析したであろうことは想像に難くありません。ゲートを通過するスピード、最初に組んだゲートをどう運ぶのか等、他チーム同様試行錯誤を繰り返し、本番に臨んだことは間違いのないでしょう。ゲートを高くする戦術との比較検討も行われたと思います。そこには文科省が目指している「主体的・対話的で深い学び」を実践する姿が現れています。

中学校として、まだまだ日頃の授業改善を目指していかなければならないと思っていますが、多様な考えに触れることの重要性を大切にし、中学校の生活の中で生徒の柔軟な発想を引き出すことができるような教育活動を工夫していきたいと考えています。

11月1日～3日 連合文化祭

11月1日～3日にセシオン杉並で行われた杉並区中学校連合文化祭では、美術科・技術科・家庭科の作品展に美術科「仏像の世界（3年）」、「心の世界（3年）」、「ポスター（2年）」、「本物そっくり文具（1年）」、「美しい模様（1年）」、技術科「もっくんクリップ（2年）」、「模型（1年）」、家庭科「布絵本（3年）」、「エコバッグ（2年）」が出品されました。



出展生徒

美術科

「仏像の世界」3A [redacted]、3A [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3C [redacted]

「心の世界」3A [redacted]、3A [redacted]、3A [redacted]、3A [redacted]、3 [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3C [redacted]

「ポスター」2A [redacted]、2A [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2C [redacted]、2C [redacted]

「本物そっくり文具」1A [redacted]、1A [redacted]、1A [redacted]、1A [redacted]、1A [redacted]、1B [redacted]、1B [redacted]、1B [redacted]、1B [redacted]、1C [redacted]

「美しい模様」1A [redacted]、1A [redacted]、1A [redacted]、1A [redacted]、1B [redacted]、1B [redacted]、1B [redacted]、1C [redacted]、1C [redacted]、1C [redacted]

技術科

「もっくんクリップ」2A [redacted]、2A [redacted]、2A [redacted]、2A [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2B [redacted]、2C [redacted]、2C [redacted]、2C [redacted]、2C [redacted]

「模型」1A [redacted]、1B [redacted]、1C [redacted]

家庭科

「布絵本」3A [redacted]、3A [redacted]、3A [redacted]、3A [redacted]、3A [redacted]、3A [redacted]、3A [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3B [redacted]、3C [redacted]、3C [redacted]、3C [redacted]、3C [redacted]、3C [redacted]

「エコバッグ」2A [redacted]、2A [redacted]

敬称略

11月1日 書評座談会

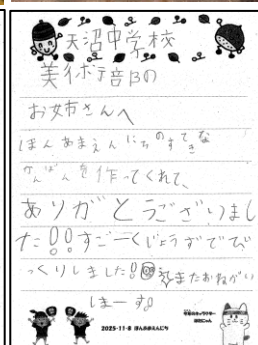
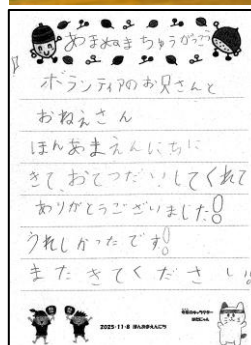
連合文化祭の一環として久我山会館で書評座談会が行われ、本校からは1年生、2年生の希望者6名が参加しました。これは、杉並区内の中学校の生徒が集まり、課題図書について感じたり考えたりしたことを著者の前で発表し、著者の講演を聞くイベントです。今年の課題図書は長谷川まりるさんの『呼人は旅をする』でした。ファンタジックな設定の中で、マイノリティとして生きることや、他者への共感について考えさせる本です。大勢の前で自分の意見を述べるのは、勇気のあることですが、天沼中の生徒は臆せず堂々と発言していました。



参加生徒 1A ■■■■■、1C ■■■■■、2A ■■■■■
2B ■■■■■、2B ■■■■■、2C ■■■■■

11月8日 「ほんあまえんにち」

沓掛小学校で毎年行われる「ほんあまえんにち」は小学生によるゲーム屋さん・お店屋さん・食べ物屋さんなど、たくさんの種類のお店屋さんが並び、児童館に通う小学生が企画・運営するお祭りです。また、大人スタッフによるおはなし会や謎解きコーナー、ソースせんべい、玉すだれ体験コーナーも運営されています。天沼中学校のボランティア生徒はそれぞれのお店屋さんに配置され、お兄さん、お姉さんとして小学生と一緒に運営スタッフとしてお祭りに貢献してきました。また、美術部は看板を作成し、ほんあまえんにちに貢献しました。



いのちの安全教育「デートDV」

今年もいのちの安全教育の一環で、東京弁護士会から講師をお招きして「デートDV」についての授業を行いました。「DV」とは「親密な関係にあるパートナー間で行われる暴力や虐待」を指します。中でもデートDVは、「交際中のパートナー間で行われる暴力や虐待」であり、「パートナーの一方が他方を支配・コントロールしようとする行為」が含まれます。こういった暴力・虐待の中には当事者や周囲が気づきにくいものがあることや、対等な関係を築くにはどのようにしていったらよいかなど、代表生徒によるロールプレイやスライドを用いた講義を通して学び、考える授業となりました。また、SNSの使い方や多様な性についても触れていただき、考えるきっかけとなりました。



「臓器移植」

また、日本臓器移植ネットワークより講師の方をお呼びして、臓器移植の現状と大切さについて学びました。「いのち、つなぐ」をキーワードに移植を希望する人と臓器を提供する人（ドナー）の日本国内での数の差を知り、いのちの大切さについて考えました。



第1学年伝統文化体験

10月から週に1度、合計6回の伝統文化体験の授業が行われています。1年生のそれぞれのクラスを2つに分け、茶道と華道の授業を3回ずつ行っています。今年度は新たな取組として3回目の華道の授業ではグループで生け花を作成し、サロンにて展示を行っています。次のグループの生け花作成は11月27日です。生け花なので短い時間ではありますがサロンの展示を保護者の方々もぜひ見に来てください。



英語カフェ

天沼中学校学校支援本部では定期考査の学習に向けた「天沼倶楽部」と英会話に親しむ「英語カフェ」を主催しています。11月は12日(水)、15日(土)、19日(水)、22日(土)の4回の英語カフェを行い、地域の方との英会話に取り組む生徒の姿がありました。この取組は英語検定の二次試験や英語スピーキングテストに大きく貢献しています。まだ行ったことがない人は天沼倶楽部とともにぜひ参加してみてください。



駅伝大会に向けて

杉並区中学校駅伝大会2025が今年も12月14日に行われます。この大会に向けて9月から始まった駅伝部の練習もいよいよ大詰めです。44名の参加生徒はそれぞれの目的をもって練習に取り組んでいます。一緒に練習に参加していた教員も1,000m走のタイムが10秒以上縮まりました。今年の駅伝大会は都立和田堀公園陸上競技場(済美山運動場)を起点として行われます。保護者の皆様、生徒たちも当日はぜひ応援に来て、選手たちの頑張りをご覧ください。



夏休みなどを利用して自発的に応募した作品や個人の取組について、続々と受賞の知らせが学校に届きました。また、部活動においても杉並区の大会や普段の努力の結果が報告されています。自分の好きなことや興味のあることに時間を使い、頑張った結果が評価されたことは学校としてもとてもうれしく思っています。今後も、様々なジャンルで自分の長所を伸ばして取り組んでほしいです。

- ・第46回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会 準優勝 3C [REDACTED]
- ・20歳未満喫煙防止・受動喫煙防止ポスターコンクール 都最優秀賞 2C [REDACTED]
- ・税の作文 荻窪間税会会長賞 3B [REDACTED]
- ・平和のためのポスターコンクール 銅賞2A [REDACTED]・1C [REDACTED]
- ・税の標語 入選 3C [REDACTED]
- ・明るい選挙啓発ポスターコンクール 入賞 2B [REDACTED]
- ・華道部 小原流華道 初等科 認 1A [REDACTED] 1A [REDACTED]
- ・卓球部 杉並区卓球新人大会 女子シングルス 第5位 2B [REDACTED]

敬称略



【保護者の皆さま】

杉並区教育委員会より11月4日にtetoruにて教育調査アンケートを配布しました。この調査の結果は教育の水準維持・向上を目的として取り組む様々な施策の参考資料として活用されます。12月10日(水)までご回答をお願いします。